

社会科学習指導案（第2学年）

授業者 西尾達也

- 1 日時 平成26年11月7日（金）4限
- 2 学年 第2学年 男子1名 女子1名
- 3 単元名 日本の諸地域「中国・四国地方」
- 4 教材名 イメージマップ～中国・四国編～

5 単元の目標

中国・四国地方の人口分布や産業が、自然環境や交通網の発達と深くかかわっていることを考察し、説明することができる。

6 指導計画

| | 学習内容 | 授業目標 |
|---------|---------------------------|---|
| 1 | どうして瀬戸内海沿いばかりに人が集まるのだろうか？ | 2つの山地と瀬戸内海という中国・四国地方の地理的特徴をつかみ、人口分布が自然環境と深く関連していることを説明できる。 |
| 2 | 人が集まる場所には何が出来るだろうか？ | 広島に様々な施設が集中していることを確認し、地方中枢都市は人・もの・情報の中心となることを説明できる。 |
| 3 | 徳島で買う？兵庫で買う？ | 明石海峡大橋誕生前後の阪神方面への購買流出率の変化を比較し、連絡橋の誕生によってストロー現象が起こったということを説明できる。 |
| 4 | 馬路村の取り組みを探ろう | 馬路村の取り組みを調べ、連絡橋の誕生により過疎地域では観光業が盛んになったということを説明できる。 |
| 5 本時 | イメージマップ ～中国・四国編～ | 広島の人口が増加している理由を、作成したイメージマップから裏付けることができる。 |

7 本時の目標

中国・四国地方について、自然環境・交通網の発達・人口に着目して考察し、表現することができる。



[課題の焦点化]

広島の人口が増加している理由を、作成したイメージマップを用いて説明することができる。

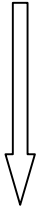
8 ユニバーサルデザインの視点

(1) 本単元の工夫

◎ スパイラル化

地理的な見方・考え方の理解・習得を深めるため、本単元は、前単元（日本の諸地域「九州地方」）とのつながりを意識して構成している。

具体的には、以下のような構成である。

| | 構成 | 九州地方 | 中国・四国地方 |
|--|-----------------------------------|---|--|
| 第 1 時  ま と め | ある社会的事象の原因を考える中で、その地域の地形や気候を理解する。 | 鹿児島でサツマイモ栽培がさかんな理由を考える中で、火山性土壌が広がっていること、温暖で降水量が多いことを理解する。 | 人口が瀬戸内海沿いに集中している理由を考える中で、2つの山地と瀬戸内海による、山陰・瀬戸内・南四国の気候の違いを理解する |
| | 第1時で得た知識を活用して地域的特色について深く考察していく。 | 水もちの悪い土壌と豪雨の結果起こる自然災害、自然環境との付き合い方などについて深く考察していく。 | 人口が集中する都市と、過疎地域それぞれの特徴や課題、連絡橋や高速道路の建設の意義などを深く考察していく。 |
| | 単元で学んだことをイメージマップを作成し大観する | 既習事項をもとにイメージマップを作成する。 (★資料参照) | 既習事項をもとにイメージマップを作成し、それをもとに課題を解決する。 |

また、第4時の学習の際には、既習の単元「毛原活性化計画を立てよう」の復習をポイントとした。

(2) 本時の工夫

(S) 焦点化（シンプル）

- ・本時のめあてを授業冒頭に明確に提示する。
- ・本時の目標を、広島人口は増加している理由を作成したイメージマップを用いて説明するという明確な課題に精選する。

(V) 視覚化（ビジュアル）

- ・掲示物にモザイクをかけて提示し、考察する点を明確にする。
- ・イメージマップを用い、本単元で学んだことを視覚的にまとめさせる。
- ・前単元のイメージマップを掲示し、活動のサンプルを示す。

(H) 共有化（シェア）

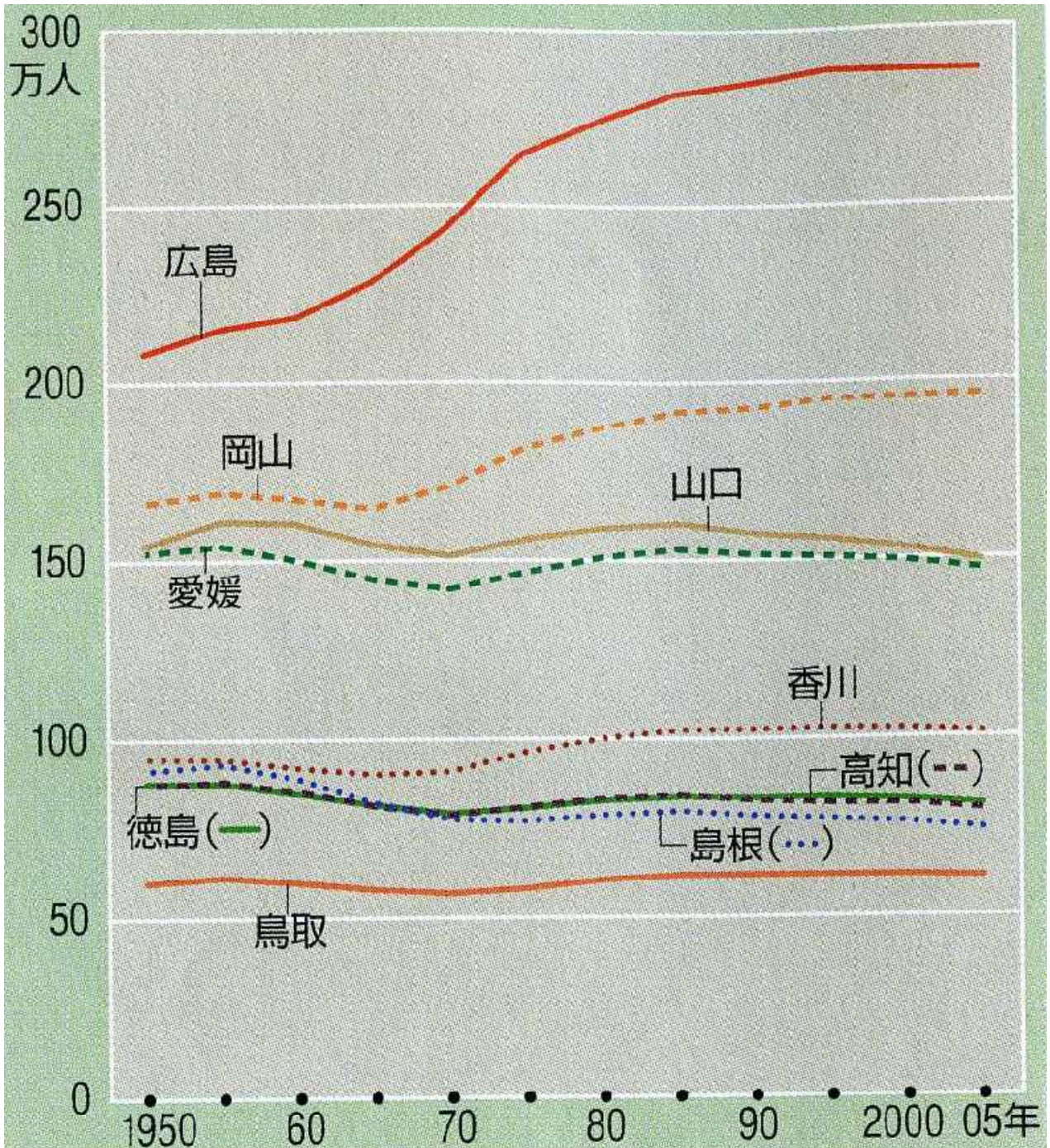
- ・1つのイメージマップを協同で作成する活動を通し、異なる考え方や価値観を交流させる。
- ・イメージマップを記入する際、視点が一方的にならぬよう、立ち位置を交代させる。
- ・発言内容が同じでも、両方に発表させる。

★資料 前単元 (日本の諸地域「九州地方」) イメージマップ



9 本時の展開

| 段階 | ・学習活動 S 予想される生徒の発言 | ・主な支援や留意点 (○) UD の視点 | 準備物 |
|---|--|---|----------------------------|
| <p>学習問題の 発見 (3分)</p> | <p>・中国・四国地方の授業の中で覚えていることを発言する。</p> <p>S ・瀬戸内海と山 ・瀬戸内に人が多い</p> <p>・広島調べた ・スーパー銭湯多い</p> <p>・大きな橋 ・徳島の服屋の数減った など</p> <p>・中国・四国地方の人口の変化を表すグラフを見て、広島の人気が増加していることに気づく。</p> | <p>・テンポよく生徒が発言するようどんどん聞いていく。</p> <p>・一方の生徒のみが発言する場合は、もう一方の生徒にも「他に何かなかったかな？」などと補助発問を投げかける。</p> <p>・広島の部分にモザイクをかけて提示し、考察する点を明確にする。(V)</p> | <p>掲示資料 ワークシート</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>主発問 なぜ広島の人気が増加しているのだろうか？</p> </div> | | | |
| <p>情報収集 (35分)</p> | <p>・イメージマップを作成する (V) (H)</p> | <p>・イメージマップに協同でまとめさせる (S・H)</p> <p>・前単元のイメージマップを掲示する。(V)</p> <p>・視点が一方的になってきた際には、「立ち位置交代してお互いの続き書いてみよう」といった声かけを行う。(H)</p> <p>・行き詰っている様子の生徒がいたら、教科書やワークシートを振り返るよう指示する。</p> | <p>イメージマップシート サンプル</p> |
| <p>仮説設定 (3分)</p> | <p>・広島の人気が増加していることについて、その裏付けとして適した言葉をイメージマップから3つずつ選択する。</p> | <p>・2人の生徒にそれぞれ異なる色のペンを持たせる。(V)</p> <p>・相談しても構わないし、各々で考えても構わないと声かけし、活動形態をあえて自由にする。</p> <p>・同じ語句を選択しても構わないとする。</p> | |
| <p>仮説検証 まとめ (4分)</p> | <p>・2人が選んだ語句を用いて、各々が「広島の人気が増加した理由」を考え記入し、お互い発表する。</p> | <p>・発表内容が同じであった場合でも、発表させる。(H)</p> <p>・まとめ作業が困難な生徒には、語句の並び替えを行わせる。</p> | |



「東京書籍『新しい社会 地理』 p.172 より」

・イメージマップシート

中国・四国地方マップ

